

## 令和3年度地域訓練協議会（2月開催分）で出された主な意見

	有識者	産業界（労使）	訓練実施機関	行政機関等
1 制度の周知について	職業訓練制度の周知・広報の在り方の改良。			
2 地域特性を踏まえた訓練設定について		地域関係者たちは「ウィズコロナ時代への対応」として、どのような訓練ニーズ等を有しているのか。		
3 人材不足分野について		コロナ禍で敬遠されがちな分野であるが、今後ますます高齢化社会を支える人材の育成が必要。	全国的に介護職の充足率が厳しいなか、介護職を目指す動機、離職の理由など、様々な情報を共有し対策を講じる必要がある。	コロナ禍の影響で応募倍率、定員充足率が大幅に減少したことが残念。
4 受講者属性等を踏まえた訓練設定について				

	有識者	産業界（労使）	訓練実施機関	行政機関等
5 訓練実施機関について				
6 総論的意見について	労働者支援だけでなく、企業ニーズ、意見を受け止めていただきたい。			
7 その他 （上記1～6以外の意見）			IT人材について県内では、既存の仕事+ $\alpha$ という形態が多くなると感じられるため、生産性向上と絡めた企業への啓蒙活動も並行して必要。	デザイン分野の高い人気を受け起業できる能力を付けること、就職先の開拓等が課題。